

# 【動画投稿による実技テストで、自分の納得のいく成果を出す】



動画撮影用サイトを使い、自分の演奏を撮影している様子



実技テストに取り組む様子

## 活用場面

### 一斉学習

教師による教材の提示

### 個別学習

個に応じた学習

調査活動

家庭学習

### 協働学習

学校の壁を越えた学習

## 活用した機器等

Chromebook  
プロジェクター  
ビデオカメラ

## 活用したアプリ等

Google Classroom  
Google Forms  
ロイロノート  
「サントリー一万人の第九」の動画作成ページ

## 学習のねらい

いわゆる『第九』の歌唱部分を切り取って練習できる「サントリー一万人の第九」の動画投稿を活用し、作品全体ではなく一部でも取り組むことで、作品の背景や意義を認識する。また、動画投稿にすることで、個々が納得のいくまで挑戦できる実技テストに取り組むとともに、専門家の練習動画や音源を繰り返し観たり聴くことによって、より専門的に細かく内容を理解し学びを深める。さらに、「サントリー一万人の第九」の企画に参加することによって、一般で歌われている演奏と自分たちの演奏を比較しながら、第九の第4楽章の完成形を経験する。

## 学習の流れ

**導入** ベートーヴェンの第九について知り、歌詞の内容や曲の背景について理解する。  
またそのうちの一部分を歌い、その様子を撮影した動画を投稿するという実技テストの課題について理解する。



**展開** 課題部分の発音、歌詞の意味など、練習動画やプリントを使って学習する。  
パートは、参考演奏を聴いたり練習で体験したりしたうえで、自分に合った声域にあったものを自由を選択する。個別に歌って指導を受け、課題を確認する。



**まとめ** 個々の演奏を動画に撮り、提出する。撮影場所は音楽室の個室、または自宅とする。取組みの反省や、第九の意義など、振り返りを Google Forms で提出する。  
「サントリー一万人の第九」の動画に参加した生徒は、実際の放送を確認し曲の全体を確認する。

## ココでICTを活用！

- ・Google Classroomで、画面上にドイツ語発音も出てくる参考演奏動画や音源を配信し、生徒がそれを聞いて繰り返し練習することができるようにした。
- ・実技テストを、投稿した動画で行うようにすることによって、納得のいくまで練習し、自分で一番良いと思った演奏を提出することができるようにした。また、生徒は撮影した動画を見ることによって、演奏している自分を客観的に振り返ることができた。

## 活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

ベートーヴェンの第九は、教科書でも大きく扱っているものの、あまりの大曲のためどのように授業で取り組めるのか模索していたが、「サントリー一万人の第九」の動画参加の企画を通して、①教員が自分では作成できないお手本動画や、専門家によるレッスン動画、豊富なコンテンツを活用できた ②生徒が自分自身の興味や進度に合わせて取り組めた ③実技テストに活用することで、自分が納得できるまで繰り返し録画し、提出することができた、という成果があった。ドイツ語の発音を扱ったので、音源だけでは物足りないところを、動画で視覚的に学習できたことは大きかった。また、一般の企画に参加することで、モチベーションが上がる生徒もいた。

Chromebookのマイクの状態やWi-Fiの問題などハード面のチェックが不可欠だが、この方法に慣れてスムーズに取り組めるようになれば、この第九の演奏活動をより深められると考えられる。